

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2000-330246(P2000-330246A)

【公開日】平成12年11月30日(2000.11.30)

【出願番号】特願平11-143327

【国際特許分類第7版】

G 0 3 C 7/392

【F I】

G 0 3 C 7/392 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月24日(2004.9.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(I)で表される化合物を含有することを特徴とするハロゲン化銀カラー写真感光材料。

一般式(I) C O U P - A - E - B

式中、C O U Pは現像主薬酸化体とカップリング可能なカプラー残基を表し、Eは求電子部位を表し、Aは、C O U Pと現像主薬酸化体とのカップリング生成物における現像主薬由来でカップリング位に直接結合した窒素原子と求電子部位Eとの分子内求核置換反応により4乃至8員の環形成をともなってBを放出させることが可能な2価の連結基または単結合を表し、C O U Pのカップリング位でC O U Pと結合していてもよいし、C O U Pのカップリング位以外でC O U Pと結合していてもよい。Bは写真的に不活性な基を表す。

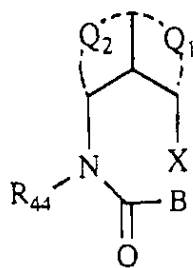
【請求項2】

前記一般式(I)で表される化合物が、C O U P、A、E、Bのいずれかに疎水性基を有していることを特徴とする請求項1に記載のハロゲン化銀カラー写真感光材料。

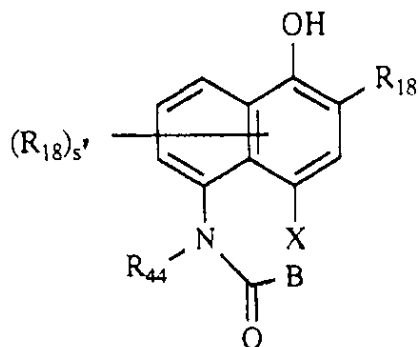
【請求項3】

前記一般式(I)で表される化合物が、一般式(I-3a)、(I-3b)または(I-3c)で表されることを特徴とする請求項1または2に記載のハロゲン化銀カラー写真感光材料。

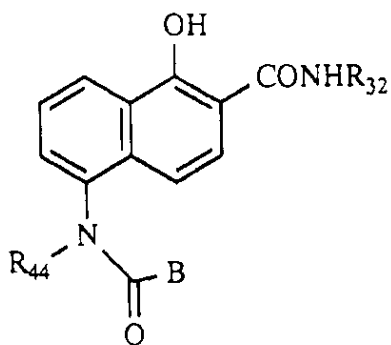
【数 1】



(I-3a)



(I-3b)



(I-3c)

式中、 Q_1 、 Q_2 はそれぞれ5または6員の環を形成し、かつ、 X のつけ根の原子で現像主薬酸化体とカップリング反応を引き起こすのに必要な非金属原子群を表し、 s は0乃至4の整数を表す。 X は、水素原子、ハロゲン原子、 $R_{31}-$ 、 $R_{31}O-$ 、 $R_{31}S-$ 、 $R_{31}OCOO-$ 、 $R_{32}COO-$ 、 $R_{32}(R_{33})NCOO-$ 、又は $R_{32}CON(R_{33})-$ を表し、 R_{31} は、脂肪族基、アリアル基または複素環基を表し、 R_{32} 及び R_{33} は、それぞれ独立に水素原子、脂肪族基、アリアル基または複素環基を表す。 B は、現像主薬酸化体とのカップリング反応後、当該カップリング生成物における現像主薬由来でカップリング位に直接結合した窒素原子との分子内求核置換反応により放出され得る写真的に不活性な基を表す。 R_{18} は、置換基を表す。 R_{44} は脂肪族基、アリアル基または複素環基を表す。